

もりふれ倶楽部通信 NO. 31

西条柿

NPO 法人もりふれ倶楽部理事長



榎原道夫

今年は自然災害多発の年、先の東日本大震災から、紀伊半島を中心にした集中豪雨、河川の氾濫、山地の崩落・・・、東南アジアでも一国の首都までもが水没しそうな様子の大水害等々、目に余る災害が随所に発生。温暖化がさらに進展して地球上いたるところの生態系が大きく変わりつつある様に、いささかの恐怖と心細さを禁じえない今日です。とはいえ、酷暑の夏が終わり寒暖の差の激しさがいささか気になりますが、柿の実の色づきや農家の軒先に吊り下げられた縄のれんの干し柿が実りの秋の気配を濃厚にしてくれます。

干し柿と言えば、島根県では栽培面積日本一の西条柿の つるし柿 が有名です。いまから 500 年ちょっと昔の中世戦国時代、毛利と尼子の争いになんと言う品種の柿であったかはわかりませんが、干し柿が武士の保存食として珍重されたようです。

ご承知のように、現在私たちの生活にかかわりを持つ柿はカキノキ科カキノキ属のカキの一栽培品種で、多くのものはどこでどのようにして作り出されたものかはよくわかっていません。西条柿も広島県西条地方(現東広島市)のあるお寺の僧が 1238 年 種子をどこからか持ち帰りお寺の境内に植えたのが原種だそうです。江戸時代広島藩の特産物として増産に力を入れ今日に及んでいるとのこと。

柿と人との関わりは大変古く、縄文、弥生時代の遺跡から種子が出土するそうです。防腐剤や防菌・防虫剤としての柿渋の活用、建築材や家具材として利用。有名な黒檀は南部インドおよび

セイロン島原産のカキノキ属です。

カキノキ属の多くは、熱帯、亜熱帯に産し 200 種ほどあるそうです。中国にある柿はすべて渋柿だそうです。特に渋みのない甘柿は日本で淘汰されたもので、甘柿は日本特有のものということです。

最近では、いろいろな品種の柿が当地でも栽培されるようになりましたが、私が知る限りでは甘柿は富有柿、渋柿は西条柿というのが出雲地方の一般的な栽培品種です。

ところで渋柿の渋みとは一体何でしょうか。果実が熟すとなぜ渋みがなくなるのでしょうか。

私たちは食べたものを消化(加水分解)することにより生活に必要なエネルギー源物質、また体構成源物質を体内に取り込んでいます。その際食物が有害物であるか否かを接触覚や、味覚を通して判断します。

味覚は舌の表面に味覚芽と呼ばれる味を感じる細胞群が点在し、唾液に解けた化学物質がその細胞を刺激し興奮させることにより生じる感覚であり、甘味 酸味 塩味 苦味の 4 種があります。一方、舌面の痛覚が唾液に解けた物質により軽い刺激を受けて反応すれば、ひりひりと表現される痛痒い感覚の辛味が生じ、舌の味覚芽が麻痺して粘膜や筋肉が縮まり舌がすぼむ感じが「渋味」と言われる感覚です。

この機械的な感覚である渋味を与えるのが「タンニン」と呼ばれる複雑な構造の化学物質で柿の実に多く含まれています。唾液に解けた渋味物質が与える感覚ですから、水溶性であることが前提です、甘柿といわれる柿の実にもタンニンが多く含まれていますが不溶性のために渋味を感じないのです。渋柿の果肉に含まれるタンニンは水溶性ですので舌に直接反応して収斂させるのです。

渋柿の果実の渋抜きは、この渋味を与える物質を不溶性にすることです。乾燥させ水分不足になると不溶性になるようです。柿のへたの枝の取り付け部分の木化が進み水分が果実に送られなくなると熟柿になりますが、含まれるタンニンが不溶性(なぜそうなるのかは勉強不足)になる結果渋味を感じなくなりなります。干し柿も同じことのようにです。

秋の深まりにつれて西条柿の干し柿やさわし柿が食卓を飾り、秋の移ろいを楽しむ日常が続くことを祈りたいものです。

響繁則氏（もりふれ倶楽部理事）「平成 23年度森の名手・名人」に認定される！



もりふれ倶楽部理事の響繁則氏が平成23年10月31日（月）国土緑化推進機構より、「平成23年度 森の名手・名人」に認定されました。大変喜ばしいことです。

皆様と喜びを分かち合いたいと思います。

響繁則氏のプロフィール

父（忠好）に学び、21歳で本格的に原木椎茸栽培を始める。

林内伏せこみが主流の中、伐採跡地での裸地伏せこみにこだわり、ほだ化率を高め、良質で収量の多い椎茸を生産している。全国規模の品評会でも多くの表彰歴があり、椎茸づくりの名人である。

椎茸栽培の傍ら、所有山林13haの森林経営（間伐、枝打ち等）に熱心に取り組み、「山は手入れしてこそ生きる」ことや「自然の恵みとともに人は成り立つ」と言う考えを信念としている。

そして、減農薬等の環境農業も営み、島根県の森林インストラクター並びに島根県指導林家として長年積極的に地域住民・児童の森林環境教育等を実施している。

また、温厚な人柄ながら、地域の林業研究グループにおいてリーダーシップを発揮し、間伐等の森林施業が森林土壌に及ぼす効果を数値で実証する森林の土壌調査を継続している。

森林所有者自らが持ち山を伐採し搬出する「自伐」の普及にも取り組み始めており、今後その活動を拡大しようとしている。



響氏のシイタケ生産現場を訪ねた松江市立母衣小学校の生徒に、「他の山主さんから、間伐等山の整備をするかわりに場所を借りてシイタケ生産を行っている」こと、「シイタケのホダ木も最後は朽ちて山の肥やしになり、整備された山がさらに良くなって行く循環を自分が関わることにより生みだしていること等」を熱く語る響氏。



島根県内で自宅の奥出雲町から最も離れた県西部の津和野町で、森林所有者自らが木を切り出す「自伐」研修の一環として、チェーンソーの目立て等を指導する響氏。

田舎暮らしのススメ ～ なつかしの国 石見 から ～ 邑智郡川本町在住 福代美保

レポート 28

かわもと薪割り倶楽部

薪割りの町外会員さんを本格的に募集し始めました。

驚いたことに田舎にお住まいの方からの参加が多いこと。

田舎に豊富な森林資源も山主でないと薪は調達できません。森の所有者が分からないから木を切れないのです。作業も一人では大変。

10名程の会員さんが益田や北広島から参加されました。

原木の調達には、地元の方に協力いただきました。

結果、5立方メートルの薪ができました。



豊富な森林資源も山から切り出さなければ資源にはなりません。
原木の調達システムを確立せねばなりませんね。

レポート 29

農村カフェを目指して

田舎の資源を最大限に活用したい。そんな想いで周りの人々と取り組み始めました。

U ターンの人々は、経験も豊富なおうえに田舎の良さをご存知です。今回は、地元の野菜、例えば、高齢者の方が丹精される豆類、イモ類を中心にした昔ながらのお菓子や川本に20年前から居る羊のお肉をメニューにしたいと考えています。

何より、U ターンの団塊の世代の方が、「田舎でも美味しい珈琲が飲みたい」と云われ、同級生の喫茶店経営経験者が「よしやろう」とのことで現実的になりました。

春に視察に行った阿蘇の一宮で聞いた「地域資源は人で売る」を思い出しました。

カフェを作る予定の場所は、三原の銀座と言われるところ。

古い楼門がある由緒ある地区。郵便局や駐在さんもあります。



資金も調達でき、メニューの試作など準備も進んでいます。

ええとこ祭り

三原の南佐木地区の恒例の夏祭り「ええとこ祭り」にイベント参加しました。80世帯の地区ですが、素晴らしい団結力で、出店も司会も大道具もすべて自前。重量当て、のど自慢、ダーツなど趣向を凝らしたイベントが開催されました。子供たちもダーツに参加。

私の仲間は「まちの記憶保存 なつかし写真館」を開催。昭和の写真を自治会の人からお借りして引き伸ばして展示しました。昔の写真を見ながら思い出話に盛り上がりました。



昭和39年にお嫁いで来られたYさん。当時の写真に並んでパチリ

ブログ 明るい農村かわもと <http://920665u.blog94.fc2.com/> ご覧下さい

「神話の里・さくらおろちの食べごと塾」 ふるさと森林公園学習展示館で第1回開催！

平成23年8月20日(土)ふるさと森林公園学習展示館において、第1回神話の里さくらおろちの食べごと塾を開催しました。



本日取り組む「飛竜頭」について、「戦前までは、お盆等の夏の特別な日のごちそうの看板だったが、戦後麻の実が手に入らなくなり消えていった。自分も子供のころ食べたが作ったことは

ない。麻の実のポリポリした食感とこおばしい香りがとってもおいしかったことを覚えている」と、82歳の主婦で、本日の講師泰中静江さんは熱く語られました。



3班に分かれて調理、食用の麻の実も用意し煎りたてを使用、復刻版「飛竜頭」と調理スタッフの行友氏の提案によるひまわりの種を使いしょうが等を隠し味にした現代提案型「飛竜頭」の2種を調理、傍らで、循環型農業に取り組み農林水産大臣賞を受賞した響繁則氏の干しシイタケと奥出雲産大豆のご汁を泰中さん自らが作成、響氏作の減農薬はで干し仁多米コシヒカリが主食、質素ではあるけれども大変贅沢な昼食の時となりました。復刻版「飛竜頭」は、泰中氏から「自分が昔食べたものはこれだ。」と発言され、その場が静かな感動につつまれました。



約70年ぶりに再現された戦前の「飛竜頭」



すりつぶした大豆を使ったご汁

午後は、島根県教育委員会が作成した資料を題材に、泰中氏、響繁則氏、調理スタッフの行友氏、コーディネーターの野田（もりふれ倶楽部事務局）を中心に、参加者も巻き込み昭和初期の「食」をめぐる生活体験が次々に語られ、楽しいトークショーが繰り広げられました。開始から3時間にわたり読売新聞が熱心に取材して帰られ、後日島根版で写真入りの記事となりました。

平成23年度 もりふれ倶楽部の歩み

7月7日(木) 雲南市立西日登小学校対応3

雲南市立西日登小学校3年生、5年生に対して、雲南市の木であるサクラについての授業の一環として、副理事長の中村氏からサクラの特徴とつながりについて話しをしました。又、雲南市でサクラの手入れをしておられる、サクラ守さんから一年を通してのサクラの管理等の話しを聞きました。 指導 中村正志



7月10日(日) 第2回森林ボランティア講座

鳥根県立ふるさと森林公園での国際森林年記念イベントとして、第2回森林ボランティア講座「効果的な下刈と実践を学ぶ!」を開催しました。

指導 響繁則、穂井田頼、野田真幹

7月12日(火) 松江市立母衣小 第1回みーもスクール

松江市母衣小学校6年生82名に対して、第1回みーもスクールとして、「森林保全の大切さ」の講義と、間伐材を使った「フクロウのキーホルダー」づくりの指導を行いました。また、みーもくん、みーなちゃんも登場し子供たちは大喜びでした。

指導 竹田正彦、中村正志、野田真幹



7月15日(金) 奥出雲町立布勢小学校対応

鳥根県東部農林振興センター雲南林業普及グループと協働で、奥出雲町立布勢小学校の学校林において、3,4年生16名に対して、樹木学習とネイチャーゲームの指導を行いました。

指導 響繁則、野田真幹

7月17日(日) 森林ボランティア(安来市立布部小学校学校林整備)

「1日限りの作業班」活動として、安来市立布部小学校の学校林整備活動を行いました。

スタッフ 中村正志、野々村俊成、田口孝道、青木宣雄、内田百合子、安達宏史、野田真幹



7月18日(月) ガールスカウト鳥根県第3団対応

鳥根県立ふるさと森林公園学習展示館に来館された、ガールスカウト鳥根県第3団の皆様25名に対して、国際森林年を記念して「森林保全の大切さの講義」と「木の実や木切れでの工作指導」を行いました。

事務局対応

7月23日(日) 第1回親子のための早朝自然観察会

ふるさと森林公園において「親子のための早朝自然観察会」を行いました。この日見られた植物の写真は、HPにアップするとともに、学習展示館に掲示しています。どうぞご覧下さい。

指導 中村正志 ボランティア 竹田正彦、百合沢博文、田口孝道

7月23日(日) 大本島根本苑対応

鳥根県立ふるさと森林公園学習展示館に来館された、大本島根本苑の親子18組に対して、木の輪切りや木の実を使って動物や昆虫づくりの指導をしました。 事務局対応





7月29日(金) こっころ夏まつり対応

斐川町アクティビカを会場に、親子リズムサークル主催の「こっころ夏まつり」が開催され、もりふれ倶楽部も「木切れの自然工作」のコーナーを出展しました。
事務局対応



7月30日(土) もりふれ倶楽部夏の交流会

もりふれ倶楽部では、愛媛の「竹林をよくする会」の皆様を迎えて、お互いの活動発表会を行ったあと、懇親会を開き交流を深めました。



7月31日(日) 第3回里山ものづくり体験

鳥根県立ふるさと森林公園学習展示館の来館者に対して「夏休み竹細工広場」の指導をおこないました。鳥根県森林インストラクターの野々村俊成氏が、この日訪れた来館者に、プロペラで回る竹楽器やろくろを使って作る竹食器づくりを丁寧に指導しました。夏休み中でたくさんの親子連れや、ろくろ目当てに来られた年輩の方等にぎわいました。

指導 野々村俊成 ボランティア 木村京子、青木宣雄

7月31日(日) 田中賢治氏報告会

鳥根県立ふるさと森林公園学習展示館において、「森林環境を改善する新たな試み」として、(株)国土防災技術緑化環境部長、田中賢治氏を招いた報告会をおこないました。猛暑の中でしたが、林研会員、山林所有者、県の林業普及関係者等、県東部の各地から約25名が参加しました。



8月4日(木)~5日(金) 緑の少年団活動発表大会及び交流集会対応

鳥根県緑化推進委員会主催の「鳥根県緑の少年団活動発表会」において参加者約80名に対して、活動発表会やキャンプファイヤーのサポートの他、間伐材のフクロウキーホルダー作りや、ネイチャーゲームの指導を行いました。

応援スタッフ 中村正志、竹田正彦、福岡茂明、野々村俊成 玉野英敬
三枝共子、野田真幹

8月5日(金) 松江市朝日公民館対応

松江市朝日公民館を会場に、朝日地区社会福祉協議会主催、児童と地域住民との交流を深める「夏休み交流教室」で、「森林の大切さの話し」と「木切れ工作」の指導を行いました。

事務局対応



8月6日(土) 7日(日) 森林ボランティア講座(スペシャル)

鳥根県立ふるさと森林公園内において、森林ボランティア講座(スペシャル)として、山陰合同銀行の職員15名を対象に、初日「森の健康診断」、2日目「下刈りについて学ぶ」の内容で開催しました。

指導 田口孝道、響繁則、野田真幹

8月20日(土) 第1回神話の里さくらおろちの食べごと塾

ふるさと森林公園学習展示館において、NPO法人さくらおろちとの協働事業として、「第1回神話の里さくらおろちの食べごと塾」を開催しました。 会報本文参照 講師 響繁則、野田真幹

8月21日(日) 第2回親子のための早朝自然観察会

ふるさと森林公園において「親子のための早朝自然観察会」を行いました。この日見られた植物の写真は、HPにアップするとともに、学習展示館に掲示しています。どうぞご覧下さい。

指導 中村正志 ボランティア 百合沢博文、田口孝道

8月21日(日)第4回里山自然塾

～ヒノキの和紙と竹材でランプシェードをつくろう!～

島根県からの委託事業「第4回里山自然塾 ヒノキの和紙と竹材でランプシェードをつくろう!」を開催しました。参加者32名は間伐の遅れによる森林の荒廃と人が放置した竹が竹藪となり拡大していることを学び、間伐材と竹を使った制作メニューに取り組みました。

講師 小笠原哲朗、中村正志、ボランティア 木村京子



8月23日(火)郡教研生活・総合部研修会対応

奥出雲町立馬木小学校において、郡内教職員11名に対して、ネイチャーゲームの指導、スライドを使った自然体験と里山についての話、木切れを使った工作の指導を行いました。

指導 野田真幹



8月24日(水)雲南市加茂児童クラブ対応

ふるさと森林公園学習展示館に来館された、雲南市加茂児童クラブ30名に対して、木の輪切りや木の実を使って動物や昆虫づくりの指導をしました。事務局対応

8月28日(日)第4回里山ものづくり体験

島根県立ふるさと森林公園学習展示館の来館者に対して「夏休みの里山ものづくり体験～木の実でどうぶつをつくろう!」の指導をおこないました。島根県森林インストラクターの野々村俊成氏が、この日訪れた親子連れに、マツボックリ、ヤシャブシ、モミジバフウなどの乾燥させた実を使っての工作の指導を行いました。

指導 野々村俊成



9月10日(土)森林ボランティア(飯南町来島)

飯南町下来島の「セラピーの森」において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、間伐後生えてきた実生苗の回りの草を手鎌や草刈機で刈る作業を行いました。この事業には、緑の募金が使われています。

スタッフ 中村正志、青木宣雄、田口孝道、穂井田頼、内田百合子、野田真幹

9月11日(日)第5回里山自然塾

～初秋の散策と、コケ玉づくりを楽しもう!～

島根県からの委託事業「第5回里山自然塾初秋の散策と、コケ玉づくりを楽しもう!」を開催しました。参加者31名は初秋の園内を散策し、島根県森林インストラクターの中村正志氏の解説により、様々な植物について学びました。午後は園内で採取した植物の実生苗を、講師の伊原千里氏の指導で、コケ玉にいけました。

講師 伊原千里、中村正志
ボランティア 木村京子、青木宣雄、藤田健一、和田秀夫



9月15日(木)安来市立布部小学校対応

安来市立布部小学校3～4年生12名に対して、学校林で樹名板をつけながら、樹木学習の指導を行いました。この事業は、緑の募金の助成を得て行われています。また、島根県からNPO派遣の藤原良浩氏に活動協力いただきました。指導 中村正志 スタッフ 藤原良浩(島根県)



9月18日(日)松江市環境フェスティバル対応

くびきメッセを会場に、「2011松江市環境フェスティバル」に出展しました。

対応 野田真幹、中村正志、竹田正彦、福岡茂明

9月18日(日)第4回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において「大人のための自然観察会」を行いました。この日見られた植物の写真は、HPにアップするとともに、学習展示館に掲示しています。どうぞご覧下さい。

指導 中村正志 ボランティア 田口孝道



9月19日(月)森の健康診断 IN 津和野町

津和野町において「森の健康診断」実施しました。台風接近中の悪天候にもかかわらず、松江市や安来市、奥出雲町等から泊まりがけの参加者も含め、40名以上が参加し、6班に分かれて津和野町内の山林で森の健康診断を実施し、その結果を発表し合いました。過密で間伐を必要としている山林が多いという結果がでました。 指導 野田真幹



9月20日(火)しまね森づくりコミッション出前講座11

しまねもりづくりコミッション出前講座の一環として、益田市立都茂小学校3、4年生14名に対して、「森の大切さの講義」、「木切れ工作」の指導を行いました。

指導 野田真幹、安達美香(アンダンテ21)



9月22日(木)松江市市民大学環境講座対応

ふるさと森林公園学習展示館と北部ヒノキ林において、松江市市民大学環境講座の約50名に対して、「森林保全の大切さの講義」、「ヒノキの皮の染めもの指導」、「間伐後生えた下層植物の観察会」を行いました。

講師 中村正志、野田真幹 スタッフ 小林玲子、宮崎徳子、原 利江(松江市)



9月22日(木)しまね森づくりコミッション出前講座12

しまね森づくりコミッションの出前講座の一環として、奥出雲町立三沢小学校5、6年生11名に対して、「森の大切さの講義」、「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。

指導 野田真幹、原利江(松江市)、宮崎徳子

9月23日(金)森林ボランティア(県民の森)

飯南町県民の森において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、植樹をするための準備として、20ヵ所の穴掘を行いました。

スタッフ 青木宣雄、三枝鋼一、三枝共子、野田真幹



9月26日(月)奥出雲町阿井公民館対応

奥出雲町阿井公民館の主催行事で、小学生約20名を対象に、ヒノキの和紙づくり指導を行いました。

事務局対応



9月28日(水)しまね森づくりコミッション出前講座13

しまね森づくりコミッションの出前講座の一環として、益田市立真砂小学校3、4年生7名に「樹木観察」、全校生徒18名に対して、「森の大切さの講義」、「木切れ工作」の指導を行いました。

指導 中村正志、安達美香(アンダンテ21)



9月29日(木)しまね森づくりコミッション出前講座14

しまね森づくりコミッションの出前講座の一環として、雲南市立掛合中学校1年生33名に対して「森の大切さの講義」、「樹木観察」、3年生25名に対して、「森の大切さの講義」、「和紙づくり体験」の指導を行いました。

指導 中村正志、宮崎徳子

もりふれ倶楽部今後の予定

11月13日(日) 10時～15時

ふるさと森林公園「森林ボランティア講座」

第4回：今、枝打ちはなぜ？基本と実践を学ぶ！（安全帯の使い方も学べます）

参加者募集中：参加費300円 持ち物～弁当・軍手・飲み物・雨天時は雨具。
定員15名（申し込み順）

11月26日(土) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

第6回大人のための自然観察会（自然を撮ろう！カメラを持って集まろう！）

感動的な自然との出会いへご案内します。15歳以上の方を対象とさせていただきます。

参加者募集中：参加費100円 前日正午まで申し込みをお受けします。

会員ボランティア募集中：9時～12時～若干の交通費補助支給

会員も参加者としても参加できます。ボランティア参加の場合その旨を申し込み時にお伝えください。当日、スタッフ的な役割をお願いいたします。

11月27日(日) 10時00分～15時00分 ふるさと森林公園学習展示館

第4回「神話の里・さくらおろちの食べごと塾」すもじ等

参加者募集中 参加費：1,000円（昼食代込み） 定員：20名（申し込み順）

12月4日(日) 10時～15時 里山自然塾「里山素材のリースをつくろう！」

参加者募集中：参加費300円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物～弁当・飲み物 定員20名（申し込み順）

12月17日(土) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

第7回大人のための自然観察会（自然を撮ろう！カメラを持って集まろう！）

15歳以上の方を対象とさせていただきます。

参加者募集中：参加費100円 前日正午まで申し込みをお受けします。

会員ボランティア募集中：9時～12時～若干の交通費補助支給

会員も参加者としても参加できます。ボランティア参加の場合その旨を申し込み時にお伝えください。当日、スタッフ的な役割をお願いいたします。

12月18日(日) 10時00分～15時00分 ふるさと森林公園学習展示館

第5回「神話の里・さくらおろちの食べごと塾」もちつき等

参加者募集中 参加費：1,000円（昼食代込み） 定員：20名（申し込み順）

森林ボランティア1日限りの作業班：各回10時～15時

11月19日(土) 12月3日(土) 雲南西小学校 学校林間伐

12月10日(土) 12月11日(日) 出雲市佐田町よし栗の里裏山整備

各回参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け

有る方はチェンソー

前日正午まで申し込お受けします。

会員の方には、若干の交通費補助を支給します。

場所のわからない方はご相談ください。

もりふれ倶楽部会報 NO.31

〒699-0406 松江市宍道町佐々布3352

ふるさと森林公園学習展示館内 もりふれ倶楽部

TEL(0852)66-3586 FAX(0852)66-3586

[メール morifure@coffee.ocn.ne.jp](mailto:morifure@coffee.ocn.ne.jp)

ホームページ <http://www.morifure.jp/>